



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和8年度
農村振興部
調整池排水対策施設補足設計業務

積 算 書
(当初)

九州農政局
農村振興部

事業名	農村振興部	相算書親 (1 / 2)
業務名	調整池排水対策施設補足設計業務	

[illegible]

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

事業名	農村振興部
業務名	調整池排水対策施設補足設計業務

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接人件費				8,210,000	
・直接人件費	1.000	式		8,210,000	
・ ・ 直接人件費	1.000	式		8,210,000	
・ ・ ・ 1. 準備作業	1.000	式	557,000	557,000	1 式当たり
S63003 (1)準備作業 0.00人,0.00人,2.00人,3.00人,3.00人,1.00人,1.00人	1.000	式	556,700	556,700	歩A・単A S単 1号
合 計				556,700	
・ ・ ・ 2. 屏体のFEM解析	1.000	式	3,200,000	3,200,000	1 式当たり
S63003 (1)補足設計 0.00人,0.00人,3.00人,5.00人,8.00人,8.00人,7.00人	1.000	式	1,517,000	1,517,000	歩A・単A S単 2号
S63003 (2)解析の実施 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,6.00人,6.00人,6.00人	1.000	式	967,100	967,100	歩A・単A S単 3号
S63003 (3)解析結果の整理 0.00人,0.00人,0.50人,1.50人,2.50人,2.50人,2.00人	1.000	式	432,250	432,250	歩A・単A S単 4号
S63003 (4)解析結果の評価 0.00人,0.00人,0.50人,2.00人,2.50人,0.00人,0.00人	1.000	式	283,900	283,900	歩A・単A S単 5号
合 計				3,200,250	
・ ・ ・ 3. 設計図面更新	1.000	式	241,000	241,000	1 式当たり
S63003 (1)設計図面更新 0.00人,0.00人,0.50人,0.50人,1.50人,1.50人,1.00人	1.000	式	241,150	241,150	歩A・単A S単 6号
合 計				241,150	
・ ・ ・ 4. 工事費算定	1.000	式	377,000	377,000	1 式当たり
S63003 (1)工事費算定 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,1.50人,0.50人	1.000	式	376,800	376,800	歩A・単A S単 7号
合 計				376,800	
・ ・ ・ 5. 説明用資料作成	1.000	式	1,127,000	1,127,000	1 式当たり
S63003 (1)説明用資料作成 0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,6.00人,6.00人,5.00人	1.000	式	1,126,500	1,126,500	歩A・単A S単 8号
合 計				1,126,500	
・ ・ ・ 6. 積算参考資料作成	1.000	式	1,492,000	1,492,000	1 式当たり
S63007 (1)現地調査 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人	1.000	式	111,900	111,900	歩A・単A S単 15号
S63003 (2)設計関係資料把握 0.00人,0.00人,2.00人,3.00人,3.00人,1.00人,0.00人	1.000	式	520,000	520,000	歩A・単A S単 9号
T00201 (3)積算資料及び施工単価条件の把握	70.000	[各単位]	7,138	499,660	歩A・単A T単 2号
T00301 (4)特別単価作成	16.000	[各単位]	22,538	360,608	歩A・単A T単 3号
合 計				1,492,168	
・ ・ ・ 7. 照査	1.000	式	284,000	284,000	1 式当たり
S63003 (1)照査 0.00人,0.00人,4.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人	1.000	式	283,600	283,600	歩A・単A S単 12号
合 計				283,600	
・ ・ ・ 8. 点検取りまとめ	1.000	式	582,000	582,000	1 式当たり
S63003 (1)点検取りまとめ 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人,3.00人	1.000	式	581,600	581,600	歩A・単A S単 13号
合 計				581,600	
・ ・ ・ 打合せ	1.000	式	294,000	294,000	1 式当たり
S63010 打合せ (設計業務基準日額) 一般工種・着手前・最終・1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.1日	2.000	回	80,100	160,200	歩A・単A S単 17号

九州農政局

九州農政局

事業名	農村振興部
業務名	調整池排水対策施設補足設計業務

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単－ 1号 ***					
S63003	(1)準備作業					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,3.00人,3.00人,1.00人,1.00人		式	556,700		歩A・単A
	*** S単－ 2号 ***					
S63003	(1)補足設計					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,5.00人,8.00人,8.00人,7.00人		式	1,517,000		歩A・単A
	*** S単－ 3号 ***					
S63003	(2)解析の実施					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,6.00人,6.00人,6.00人		式	967,100		歩A・単A
	*** S単－ 4号 ***					
S63003	(3)解析結果の整理					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.50人,1.50人,2.50人,2.50人,2.00人		式	432,250		歩A・単A
	*** S単－ 5号 ***					
S63003	(4)解析結果の評価					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.50人,2.00人,2.50人,0.00人,0.00人		式	283,900		歩A・単A
	*** S単－ 6号 ***					
S63003	(1)設計図面更新					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.50人,0.50人,1.50人,1.50人,1.00人		式	241,150		歩A・単A
	*** S単－ 7号 ***					
S63003	(1)工事費算定					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,1.50人,0.50人		式	376,800		歩A・単A
	*** S単－ 8号 ***					
S63003	(1)説明用資料作成					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,6.00人,6.00人,5.00人		式	1,126,500		歩A・単A
	*** S単－ 9号 ***					
S63003	(2)設計関係資料把握					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,3.00人,3.00人,1.00人,0.00人		式	520,000		歩A・単A
	*** S単－ 10号 ***					
S63003	積算資料及び施工単価条件の把握					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.50人,2.00人,4.00人,0.00人,0.00人		式	499,650		歩A・単A
	*** S単－ 11号 ***					
S63003	特別単価作成					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,1.00人,3.00人,1.00人,1.00人		式	360,600		歩A・単A
	*** S単－ 12号 ***					
S63003	(1)照査					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,4.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人		式	283,600		歩A・単A
	*** S単－ 13号 ***					
S63003	(1)点検取りまとめ					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人,3.00人		式	581,600		歩A・単A
	*** S単－ 14号 ***					
S63003	設計労務(直接人件費内業)					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.50人		式	18,350		歩A・単A
	*** S単－ 15号 ***					
S63007	(1)現地調査					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人		式	111,900		歩A・単A
	*** S単－ 16号 ***					
S63007	現地調査移動にかかる基準日額					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.50人,0.50人,0.00人,0.00人		式	55,950		歩A・単A
	*** S単－ 17号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)					
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.1日		回	80,100		歩A・単A
	*** S単－ 18号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)					
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.1日		回	67,140		歩A・単A
	*** S単－ 19号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成					
	電子納品版業務報告書作成 1, A－ 4, 500, 8cm, 0		式	7,536		歩A・単A
	*** S単－ 20号 ***					
S63031	《打合せ (設計旅費・交通費)》					
	《打合せ (設計旅費・交通費)》 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,		回	724		歩A・単A
	*** S単－ 21号 ***					
S63031	《打合せ (設計旅費・交通費)》					
	《打合せ (設計旅費・交通費)》 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,		回	724		歩A・単A

九州農政局

事業名	農村振興部
業務名	調整池排水対策施設補足設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S63003	(1)準備作業		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,3.00人,3.00人,1.00人,1.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)	3.000	人	62,600	187,800	
R04005	技師 (B)	3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C)	1.000	人	42,500	42,500	
R04007	技術員	1.000	人	36,700	36,700	
	合 計				556,700	算出数量 1,000 式
	単 価		式		556,700	
	*** S単一 2号 ***					
S63003	(1)補足設計		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,5.00人,8.00人,8.00人,7.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	8.00人				
	6)技師Cの人数	8.00人				
	7)技術員の人数	7.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	70,900	212,700	
R04004	技師 (A)	5.000	人	62,600	313,000	
R04005	技師 (B)	8.000	人	49,300	394,400	
R04006	技師 (C)	8.000	人	42,500	340,000	
R04007	技術員	7.000	人	36,700	256,900	
	合 計				1,517,000	算出数量 1,000 式
	単 価		式		1,517,000	
	*** S単一 3号 ***					
S63003	(2)解析の実施		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,6.00人,6.00人,6.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	6.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)	2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)	6.000	人	49,300	295,800	
R04006	技師 (C)	6.000	人	42,500	255,000	
R04007	技術員	6.000	人	36,700	220,200	
	合 計				967,100	算出数量 1,000 式

事業名	農村振興部
業務名	調整池排水対策施設補足設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		式		967,100	
	*** S単一 4号 ***					
S63003	(3)解析結果の整理		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.50人,1.50人,2.50人,2.50人,2.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.50人				
	5)技師Bの人数	2.50人				
	6)技師Cの人数	2.50人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師					
		0.500	人	70,900	35,450	
R04004	技師 (A)					
		1.500	人	62,600	93,900	
R04005	技師 (B)					
		2.500	人	49,300	123,250	
R04006	技師 (C)					
		2.500	人	42,500	106,250	
R04007	技術員					
		2.000	人	36,700	73,400	
	合 計				432,250	算出数量 1,000 式
	単 価		式		432,250	
	*** S単一 5号 ***					
S63003	(4)解析結果の評価		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.50人,2.00人,2.50人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.50人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		0.500	人	70,900	35,450	
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)					
		2.500	人	49,300	123,250	
	合 計				283,900	算出数量 1,000 式
	単 価		式		283,900	
	*** S単一 6号 ***					
S63003	(1)設計図面更新		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.50人,1.50人,1.50人,1.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	1.50人				
	6)技師Cの人数	1.50人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04003	主任技師					
		0.500	人	70,900	35,450	
R04004	技師 (A)					
		0.500	人	62,600	31,300	
R04005	技師 (B)					
		1.500	人	49,300	73,950	
R04006	技師 (C)					
		1.500	人	42,500	63,750	
R04007	技術員					
		1.000	人	36,700	36,700	
	合 計				241,150	算出数量 1,000 式

事業名	農村振興部
業務名	調整池排水対策施設補足設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		式		241,150	
	*** S単一 7号 ***					
S63003	(1)工事費算定		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,1.50人,0.50人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	1.50人				
	7)技術員の人数	0.50人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)					
		2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)					
		1.500	人	42,500	63,750	
R04007	技術員					
		0.500	人	36,700	18,350	
	合 計				376,800	算出数量 1,000 式
	単 価		式		376,800	
	*** S単一 8号 ***					
S63003	(1)説明用資料作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,6.00人,6.00人,5.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	5.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
		4.000	人	62,600	250,400	
R04005	技師 (B)					
		6.000	人	49,300	295,800	
R04006	技師 (C)					
		6.000	人	42,500	255,000	
R04007	技術員					
		5.000	人	36,700	183,500	
	合 計				1,126,500	算出数量 1,000 式
	単 価		式		1,126,500	
	*** S単一 9号 ***					
S63003	(2)設計関係資料把握		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,3.00人,3.00人,1.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
		3.000	人	62,600	187,800	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C)					
		1.000	人	42,500	42,500	

事業名	農村振興部
業務名	調整池排水対策施設補足設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				520,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		520,000	
	*** S 単一 10号 ***					
S63003	積算資料及び施工単価条件の把握		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.50人,2.00人,4.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	2.500	人	70,900	177,250	
R04004	技師 (A)	2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)	4.000	人	49,300	197,200	
	合 計				499,650	算出数量 1.000 式
	単 価		式		499,650	
	*** S 単一 11号 ***					
S63003	特別単価作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,1.00人,3.00人,1.00人,1.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の数	1.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)	1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師 (B)	3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C)	1.000	人	42,500	42,500	
R04007	技術員	1.000	人	36,700	36,700	
	合 計				360,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		360,600	
	*** S 単一 12号 ***					
S63003	(1)照査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,4.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	4.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	4.000	人	70,900	283,600	
	合 計				283,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		283,600	
	*** S 単一 13号 ***					

事業名	農村振興部
業務名	調整池排水対策施設補足設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63003	(1)点検取りまとめ		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師					
		1,000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)					
		2,000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)					
		3,000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C)					
		3,000	人	42,500	127,500	
R04007	技術員					
		3,000	人	36,700	110,100	
	合 計				581,600	算出数量 1,000 式
	単 価		式		581,600	
	*** S単一 14号 ***					
S63003	設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.50人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.50人				
R04007	技術員					
		0,500	人	36,700	18,350	
	合 計				18,350	算出数量 1,000 式
	単 価		式		18,350	
	*** S単一 15号 ***					
S63007	(1)現地調査		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A) 外業					
		1,000	人	62,600	62,600	
R04005	技師 (B) 外業					
		1,000	人	49,300	49,300	
	合 計				111,900	算出数量 1,000 式
	単 価		式		111,900	
	*** S単一 16号 ***					
S63007	現地調査移動にかかる基準日額		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.50人,0.50人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.00人				

事業名	農村振興部
業務名	調整池排水対策施設補足設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	7)技術員の数	0.00人				
R04004	技師 (A)					
	外業	0.500	人	62,600	31,300	
R04005	技師 (B)					
	外業	0.500	人	49,300	24,650	
	合 計				55,950	算出数量 1.000 式
	単 価		式		55,950	
	*** S単一 17号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.1日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.100日				
R04003	主任技師					
		0.600	人	70,900	42,540	
R04004	技師 (A)					
		0.600	人	62,600	37,560	
	合 計				80,100	算出数量 1.000 回
	単 価		回		80,100	
	*** S単一 18号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.1日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	中間				
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.100日				
R04004	技師 (A)					
		0.600	人	62,600	37,560	
R04005	技師 (B)					
		0.600	人	49,300	29,580	
	合 計				67,140	算出数量 1.000 回
	単 価		回		67,140	
	*** S単一 19号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1,A-4,500,8cm,0			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)報告書部数(部)	1.000		深夜時間:0.0		
	2)規格区分	A-4				
	3)枚数区分(枚)	500				
	4)厚さ区分	8cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43422	報告書焼付代 (コピー)					
	A-4以下 500枚	1.000	部	6,750	6,750	
P43543	簡易加除式ファイル					
	A 4縦型幅8cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	786	786	
P43602	C D-R					
	C D-R(記録面色素フタロシアニン)700MB	0.000	枚	47	0	
	合 計				7,536	算出数量 1.000 式
	単 価		式		7,536	

事業名	農村振興部
業務名	調整池排水対策施設補足設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 20号 ***					
S63031	《打合せ（設計旅費・交通費）》		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	《打合せ（設計旅費・交通費）》 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	一般交通機関				
	9)高速道路往復料金（税別）	0円				
	10)鉄道往復1人当料金（税別）	362円				
	11)バス往復1人当料金（税別）	0円				
	12)船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	13)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	14)ライトバン使用日数	0日				
	16)宿泊料金1式当料金（税別）	0円				
	17)宿泊手当1式当料金（税別）	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	362	724	
	合 計				724	算出数量 1.000 回
	単 価		回		724	
	*** S単一 21号 ***					
S63031	《打合せ（設計旅費・交通費）》		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	《打合せ（設計旅費・交通費）》 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	一般交通機関				
	9)高速道路往復料金（税別）	0円				
	10)鉄道往復1人当料金（税別）	362円				
	11)バス往復1人当料金（税別）	0円				
	12)船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	13)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	14)ライトバン使用日数	0日				
	16)宿泊料金1式当料金（税別）	0円				
	17)宿泊手当1式当料金（税別）	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	362	724	
	合 計				724	算出数量 1.000 回
	単 価		回		724	
	*** S単一 22号 ***					
S63034	《旅費交通費（設計外業宿泊用）》		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	《旅費交通費（設計外業宿泊用）》 ライトバン,2日,2時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)高速道路往復料金（税別）	0円		深夜時間:0.0		
	3)鉄道往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	4)バス往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	5)船舶往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	6)航空往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	7)ライトバン使用日数	2日				
	8)時間区分	2時間				
	9)宿泊料金[全員分合算]（税別）	0円				
	10)宿泊手当[全員分合算]（税別）	0円				
	11)落札率	0.000000				

九州農政局

九州農政局

九州農政局

令和 8 年度
調整池排水対策施設補足設計業務

特別仕様書

農林水産省 九州農政局

第1章 総 則

(適用範囲)

第1－1条

令和8年度 調整池排水対策施設補足設計業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目 的)

第1－2条

本業務は、諫早湾干拓事業において造成された潮受堤防南部排水門への上水排水のためのフラップゲート設置に当たり、過年度に実施した有限要素法(FEM)による南部排水門扉体の安定性解析結果を参考に、必要となる補足設計を行い、改めて有限要素法(FEM)による排水門扉体の安定性についての解析を行うとともに、工事発注に必要な積算参考資料の作成等を行うものである。

(場 所)

第1－3条

業務位置は、長崎県雲仙市地先で、別添位置図に示すとおりである。

(低入札価格契約における第三者照査)

第1－4条

- 1 予算決算及び会計令（以下、「予決令」という。）第85条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る価格で契約した場合においては、受注者は「業務請負契約書第11条照査技術者」及び「共通仕様書第1－7条照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において共通仕様書等を基本とする第三者の照査（以下、「第三者照査」という。）を実施しなければならない。
- 2 第三者照査の企業に要求される資格
 - (1) 予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当していないこと。
 - (2) 九州農政局において、令和7、8年度（当該業種区分）の一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていること。
 - (3) 九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
 - (4) 共通仕様書第1-30条守秘義務を遵守できるものであること。
 - (5) 中立的、公平な立場で照査が可能な者であること。なお、第三者照査を実施するのは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

ア 資本関係

（ア）親会社と子会社の関係にある

（イ）親会社を同じくする子会社同士の関係にある

イ 人的関係

(ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている

3 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格

第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下の者であること。

- (1) 照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
- (2) 照査技術者と同等の技術者資格を有する者

4 照査技術者の通知

受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

5 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。

6 報告書原稿作成段階時打合せへの立会い

特別仕様書第4-1条打合せに示す打合せのうち、報告書原稿作成段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

7 第三者照査の照査技術者の AGRIS 登録

共通仕様書第1-12条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス

(AGRIS) の登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

8 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないものであるときは、業務請負契約書第41条のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができるものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第1-5条

本業務の受注に当たり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- (1) 審査項目 a) ～ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- (2) 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- (3) その他、業務計画書等示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- (4) 業務成果品のミス、不備 等

(一般事項)

第 1－6 条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- 1 受注者は、作業実施の順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。

(管理技術者)

第 1－7 条

管理技術者は、共通仕様書第 1－6 条第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	機械－機械設計等 建設－鋼構造及びコンクリート 農業－農業土木 農業－農業農村工学
	機械	機械設計等
	建設	鋼構造及びコンクリート
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティング マネージャ	鋼構造及びコンクリート	
	農業土木	

(照査技術者)

第 1－8 条

- 1 照査技術者は、共通仕様書第 1－7 条第 2 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	機械－機械設計等 建設－鋼構造及びコンクリート 農業－農業土木 農業－農業農村工学
	機械	機械設計等
	建設	鋼構造及びコンクリート
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティング マネージャ	鋼構造及びコンクリート	
	農業土木	

- 2 本業務における照査は、「設計業務照査の手引書(案)」(以下「照査手引書」という。)に基づき実施する。また、「照査手引書」に基づく照査により作成した資料は、共通仕様

書第 1－7 条 5 項に規定する報告書に含めて提出するものとする。

3 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

(担当技術者)

第 1－9 条

担当技術者は、共通仕様書第 1－8 条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第 1－10 条

共通仕様書第 1－11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第 1－12 条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

(1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

(2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第 1－11 条

受注者は、共通仕様書第 1－37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第 2 章 作業条件

(適用する図書)

第 2－1 条

設計の基本事項に関しては、次の技術基準等を優先して適用するものとする。なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

名 称	発行所	制定(改訂)年月
鋼構造物計画設計技術指針（水門扉編）	(一社)農業土木事業協会	平成 21 年 3 月

(設計条件)

第 2－2 条

設計作業における設計条件は、次のとおりである。

1 設計基本条件（南部排水門）

- | | |
|-------------|------------|
| (1) 設 備 名 称 | 南部排水門 |
| (2) 形 式 | フローティングタイプ |
| (3) 数 量 | 2 門 |
| (4) 純 径 間 | 25.00m |

- (5) 扉 高 9.0m
- (6) ゲート敷高 EL(-)4.00m
- (7) 開閉方式 電動ワイヤーロープ ウインチ式(2M2D)
- (8) 操作方式 機側・遠方

2 外海側水位条件

- (1) 設計高潮位 (H. H. W. L) (+)4.90m
- (2) 朔望平均満潮位 (H. W. L) (+)2.50m
- (3) 朔望平均干潮位 (L. W. L) (-)2.90m

3 調整池水位条件

- (1) 調整池設計洪水位 (+)2.20m
- (2) 調整池管理水位 (-)1.00m
- (3) 調整池操作下限水位 (-)1.20m

(参考図書)

第2-3条

設計の基本事項に関しては、次の技術基準等を優先して適用するものとする。なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

名 称	発行所	制定(改訂)年月
水門鉄管技術基準 (水門扉編)	(一社)電力土木技術協会	令和7年10月
水門鉄管技術基準 (水圧鉄管・鉄鋼構造物編, 溶接・接合編)	(一社)電力土木技術協会	令和6年9月
ダム・堰施設技術基準 (案)	(一社)ダム・堰施設技術協会	平成28年3月
水門・樋門ゲート設計要領 (案)	(一社)ダム・堰施設技術協会	平成13年12月
ゲート用開閉装置 (機械式) 設計要領 (案)	(一社)ダム・堰施設技術協会	平成12年8月
河川砂防技術基準 (案) 同解説・設計編	(社)日本河川協会	平成9年10月

(貸与資料等)

第2-4条

貸与資料は次のとおりである。

分 類	貸与資料	数量
業務報告書	令和6年度 調整池排水対策検討業務	1部
	令和6年度 調整池上水排水対策施設安定性解析業務	1部
その他	その他、参考となる資料等	1式

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2-5条

第2-3条及び第2-4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合は、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第3章 作業内容 (作業項目及び数量)

第3－1条

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙－1 作業項目内訳表に示すものとする。

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 準備作業	1 式	
2. 扉体の FEM 解析	1 式	
3. 設計図面更新	1 式	
4. 工事費算定	1 式	
5. 説明用資料作成	1 式	
6. 積算参考資料作成	1 式	
7. 照査	1 式	
8. 点検取りまとめ	1 式	

(設計作業の留意点)

第3－2条

設計作業の実施に際し特に留意する点は、以下のとおりである。

- (1) 解析を実施するケースは扉体設計時に最も水平方向荷重が大きい高潮時（外潮位 TP(+)4.75m, 調整池水位 TP(-)1.20m, 波高 2.00m 考慮）とする。（最も危険となるケース）
- (2) 設計に当たっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- (3) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (4) 第2－3条、第2－4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (5) 施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するものとする。
- (6) 当該業務で実施するコスト縮減対策の検討作業に関し、検討の視点、施策の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果については、報告書中に「コスト縮減対策」の章を別途設定し、取りまとめるものとする。なお、コスト縮減に関する新技術や新工法等の選定に当たっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。
- ・農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、

<https://nn-techinfo.jp/> を参照。

- ・ 農業水利施設保全補修ガイドブック 2024 については、
<https://www.jagree.or.jp/publication/books/no9/> を参照。
- ・ 新技術情報システム（NETIS）については、
<http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp> を参照。

（７）数量計算に当たっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。

なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。

- ・ 「工事工種の体系化」は、
https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/ を参照。

（業務写真における黒板情報の電子化）

第３－３条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化及び写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（１）から（４）によりこれを実施するものとする。

（１）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（２）機器等の導入

ア 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

イ 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（３）黒板情報の電子的記入に関する取扱い

ア 受注者は、（１）の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

イ 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記アに示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）６ 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

ウ 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

（４）写真の納品

受注者は、（３）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。なお、受注者は納品時に

URL(https://dcpadv.jcomsia.org/photofinder/pac_auth.php)のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写

真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4－1条

共通仕様書第1－10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 設計作業着手の段階

第2回 中間打合せ（補足設計及び扉体のFEM解析結果整理段階）

第3回 中間打合せ（積算参考資料作成段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。その際、管理技術者は、共通仕様書第1－11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成 果 物

(成 果 物)

第5－1条

成果物を設計業務共通仕様書第1－17条及び「設計業務等の電子納品要領（案）機械設備工事編」に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

(1) 成果物の電子媒体（CD-R等）正副2部

(2) 成果物の出力1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

(開示用成果物の作成及び提出)

第5－2条

第5－1条に記載している成果物（PDFファイル）に含まれる、行政機関の保有する情報の公開に関する法律における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

なお、「不開示情報」とは、別紙－2のとおりである。

(1) 開示用成果物の電子媒体（CD-R等）1部。

(成果物の提出先)

第5-3条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

熊本県熊本市西区春日2丁目10番1号 熊本地方合同庁舎 A棟6階
農林水産省九州農政局農村振興部農地整備課

第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第2-2条に示す「設計条件」に変更が生じた場合。
- (2) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (3) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (4) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (5) 履行期間の変更が生じた場合。
- (6) 関係機関等対外的協議により設計計画等に変更が生じた場合。
- (7) その他

第6-2条

(業務スライドの試行)

- (1) 本業務は、「建設コンサルタント業務等における賃金等の変動に基づく業務費の変更の取扱いについて(試行)」(令和7年12月17日付け7農振第2167号農村振興局整備部設計課長通知)(URL「<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/attach/pdf/index-256.pdf>」)に基づく試行業務である。
- (2) 発注者又は受注者は、履行期間内で業務契約締結の日から12月を経過した後に日本国内における賃金水準又は物価水準の変動により業務費が不相当となったと認めたときは、相手方に対して業務費の変更を請求することができる。
- (3) 発注者又は受注者は、(2)の規定による請求があったときは、変動前残業務費(業務費から当該請求時の履行済部分に相応する業務費を控除した額をいう。以下この条において同じ。)と変動後残業務費(変動後の賃金又は物価を基礎として算出した変動前残業務費に相応する額をいう。以下この条において同じ。)との差額のうち変動前残業務費の1000分の15を超える額につき、業務費の変更に応じなければならない。
- (4) 変動前残業務費及び変動後残業務費は、請求のあった日を基準とし、物価指数等に基づき発注者と受注者とが協議して定める。
ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあっては、発注者が定め、受注者に通知する。
- (5) (2)の規定による請求は、この条の規定により業務費の変更を行った後再度行うこ

とができる。この場合において、(2) 中「業務契約締結の日」とあるのは、「直前のこの条に基づく業務費変更の基準とした日」とするものとする。

(6) 予期することのできない特別の事情により、履行期間内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、業務費が著しく不適當となったときは、発注者又は受注者は、(2) ～ (5) の定めにかかわらず、業務費の変更を請求することができる。

(7) (6) の場合において、業務費の変更額については、発注者と受注者とが協議して定める。

ただし、協議開始の日から 14 日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。

(8) (4) 及び (7) の協議開始の日については、発注者が受注者の意見を聴いて定め、受注者に通知しなければならない。

ただし、発注者が (2)、(6) の請求を行った日又は受けた日から 7 日以内に協議開始の日を通知しない場合には、受注者は、協議開始の日を定め、発注者に通知することができる。

(9) 業務スライドの試行に係る運用については、(1) に記載の通知に基づくものとする。

第 7 章 定めなき事項

(定めなき事項)

第 7-1 条

この特別仕様書に定めなき事項または本業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【別紙－１ 作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	数量
1. 準備作業	設計に必要な資料（既往排水門設計図書等）及び貸与資料の内容を整理・把握する。	1 式
2. 扉体の FEM 解析		1 式
(1) 補足設計	過年度に実施した安定性評価の結果から、南部排水門扉体において補強が必要な箇所についての補足設計（対策工）を行う。	1 式
(2) 解析の実施	南部排水門扉体へのフラップゲート及びスライドゲート設置後の応力状況を弾性静解析により実施する。 なお、有限要素法 (FEM) 解析の基本条件等は過年度成果を使用する。	1 式
(3) 解析結果の整理	南部排水門扉体へのフラップゲート及びスライドゲート設置後の解析結果（解析モデル図、解析条件図、変形状態図、応力コンター図）を整理する。	1 式
(4) 解析結果の評価	南部排水門扉体へのフラップゲート及びスライドゲート設置後の応力状況を比較し、安全性を評価する。	1 式
3. 設計図面更新	補足設計を踏まえて、関係する過年度成果図面を更新する。	1 式
4. 工事費算定	補足設計にかかる工事数量表を整理し、工事費を算定する。	1 式
5. 説明用資料作成	上記の成果について、説明用資料を作成する。	1 式
6. 積算参考資料作成		1 式
(1) 現地調査	貸与資料に基づき現地を確認する。	1 式
(2) 設計関係資料把握	貸与資料から本業務の作業（工事）範囲の確認、照合作業を行う。	1 式
(3) 積算資料及び施工単価条件の把握	各工種において、積算の根拠（施工歩掛、施工機械の選定等）資料及び施工単価条件の選定資料等を作成する。	70 頁
(4) 特別単価作成	単価を作成する際、土地改良工事積算基準及び工事工種体系が定められていない工種で、各歩掛を組み合わせ構成した方が適切な場合には特別単価の作成を行う。	16 単価
7. 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	1 式
8. 点検取りまとめ	各設計項目の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	1 式

【別紙－２ 不開示情報】

不開示とする情報	該当項目	該当条項
個人に関する情報及び法人その他団体に関する情報	記述等により特定の個人を識別することができる情報 1. 受注者氏名 2. 個人及び会社の印影 3. 各種調査結果に記載された調査員等の氏名 4. 打合せ議事録等の発注者以外の氏名及び組織名 5. 図面等に記載された地番、所有者等の氏名、住所等 6. 顔写真 7. 技術提案書等の当該法人の知的財産に関する情報 8. IP アドレス等機器の接続情報 9. その他（公にすることにより個人、会社の権利利益を害する恐れのある情報）	行政機関の保有する情報の公開に関する法律 第 5 条第一号及び第二号イ

令和8年度 調整池排水対策施設補足設計業務

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	枚数	備 考
1	業務位置図	1	
計		1	

業務位置図（令和8年度 調整池排水対策施設補足設計業務）

